

学校名 瀬戸内町立諸鈍小中学校

項 目	活動内容等
1 報告理由	<p>瀬戸内町立諸鈍小中学校は、加計呂麻島の豊かな自然と、諸鈍シバヤを始めとする歴史と文化に育まれた全校児童生徒 19 人の少人数の学校である。諸鈍小中学校では、校内の除草やシンボルツリーであるアカギの大木の落ち葉拾いを、年間を通して実施している。校外では、近隣にある観光名所の諸鈍長浜海岸の美化作業や、諸鈍シバヤの会場となる大屯神社の清掃活動を、児童生徒ボランティア活動として実施している。</p> <p>また、夏季休業中に実施する PTA 美化作業に地域の方々も参加していただいたり、子ども会と協力して、親子で一緒に諸鈍長浜の清掃や、でいご並木の清掃をしたりするなど、学校と地域が一体となって環境美化に取り組んでいる。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>1 朝のボランティア活動 現在の児童生徒の保護者が在籍していた頃から継続して実施されている。朝の 7:55 から約 15 分程度、春から秋にかけては、除草を中心に実施し、冬とアカギやアコウの木が落葉した際は、落ち葉拾いを中心に実施している。</p> <p>2 デイゴ並木清掃・諸鈍長浜清掃 諸鈍校の近隣にあるデイゴ並木と諸鈍長浜は、加計呂麻島諸鈍集落にある観光名所である。5 月の連休の時期は、多くの観光客が来島し、散策する場所である。そのため、本校児童生徒が、連休前に清掃作業を実施している。(平成 21 年以降) 以前は、デイゴ並木の花びらが散り、並木道が真っ赤になっていたと言われているが、近年は樹勢が弱くなり清掃箇所が少なくなってきた。令和 4 年度から、小学校高学年が、総合的な学習の時間で諸鈍長浜の漂流物について調査を実施し、中学生が、三島集合学習会で SDGs について学習する中で、海を大切にすることを体験的に学習する機会として、諸鈍長浜の清掃を実施するようになった。</p>

	<p>3 子ども会ボランティア活動 子ども会ボランティア活動は、子ども会が主催する親子レクリエーションの日に合わせて、朝の涼しい時間帯に実施している。実施場所は、デイゴ並木か諸鈍長浜を、1学期最後のPTAで話し合って決めている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で親子レクリエーションは実施できなかったが、ボランティア活動は、諸鈍長浜の清掃を親子で実施した。(令和5年度は都合により未実施)</p> <p>4 PTA美化作業 PTA美化作業は、「愛校作業」「PTA奉仕作業」など名称が変わっているが、平成6年頃から実施されていて、地域の方々も参加している。地域の方々は、草刈り機だけでなく、ダンプトラックやローダーなどの重機を持ち込んで、大がかりに枝打ちや除草をして頂いている。例年、80人程の方々に参加していただいている。</p> <p>5 大屯神社清掃 国指定重要無形民俗文化財である「諸鈍シバヤ」の会場となる大屯神社の境内を、開催日の約1週間前に、児童生徒ボランティア活動として清掃している。コロナの影響などで神事のみで開催が続いたが、昨年度は、児童生徒がきれいにした境内で実施することができた。</p>
<p>② 活動の愛称名があれば記入して下さい</p>	<p>諸鈍校児童生徒ボランティア活動</p>
<p>③ 月間又は年間活動回数</p>	<p>1 朝のボランティア活動 月～金曜日(月20回)</p> <p>2 デイゴ並木清掃・諸鈍長浜清掃 年1回(5月初旬の連休前)</p> <p>3 子ども会ボランティア活動 年1回(夏期休業中)</p> <p>4 PTA美化作業 年1回(夏期休業中～8月最後の日曜日)</p> <p>5 大屯神社清掃 年1回(旧暦9月9日の大屯祭に合わせて)</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	<ol style="list-style-type: none"> 1 朝のボランティア活動 本校校庭（雨天時は校内美化作業） 2 デイゴ並木清掃・諸鈍長浜清掃 デイゴ並木周辺，諸鈍長浜海岸周辺 3 子ども会ボランティア活動 デイゴ並木周辺，諸鈍長浜海岸周辺 4 PTA 美化作業 本校校庭及び敷地内 5 大屯神社清掃 大屯神社境内及びその周辺
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<ol style="list-style-type: none"> 1 朝のボランティア活動 児童生徒 19 人，教職員 10 人 2 デイゴ並木清掃・諸鈍長浜清掃 児童生徒 19 人，教職員 13 人 3 子ども会ボランティア活動 児童生徒 19 人，教職員 13 人，保護者約 20 人 4 PTA 美化作業 児童生徒 19 人，教職員 13 人，保護者約 20 人 地域住民の方々約 80 人 5 大屯神社清掃 児童生徒 19 人，教職員 13 人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	<ol style="list-style-type: none"> 1 朝のボランティア活動 15 分 2 デイゴ並木清掃・諸鈍長浜清掃 45 分（中学生を中心に片付け 5 分） 3 子ども会ボランティア活動 30 分 4 PTA 美化作業 90 分 5 大屯神社清掃 45 分（中学生を中心に片付け 5 分）
⑦ 収集物の処理	<p>収集したゴミは分別して処理をしている。アカギやアコウの葉っぱ等は，地中に埋めて腐葉土にして学級園等で再利用をしている。また，PTA 美化作業で出た枝木は，地域の方々に許可を得た場所で処分している。</p>

<p>(2) 活動の独創性 活動の特徴</p>	<p>本校は、少人数の学校であるが、児童生徒、保護者、地域が協力して学校の運営に携わる意識があり、美化活動においても地域を挙げて取り組んでいる。また、郷土の自然や歴史に対する思いが強く、諸鈍長浜や大屯神社を自分たちの手で守っているという意識がある。地域の方々も本校の卒業生が多く、運動会などの学校行事に地域住民も参加することから、美化作業にも多くの方々が参加して下さっている。</p>
<p>(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献</p>	<p>諸鈍長浜や大屯神社は、地域の方々にとって諸鈍集落のシンボリックな場所なので、本校の児童生徒が清掃活動を行うことを、地域の方々は大変喜ばれている。また、集落の高齢化が進み、以前のように集落作業の参加者が集まらないと伺っている。児童生徒を始め、保護者や教職員が環境美化を行うことは、地域の活性化や集落作業などの環境美化活動の継承にもつながると思われる。</p>
<p>② 地域住民との協力活動</p>	<p>集落の多くの方々が、諸鈍小中学校の卒業生であり、本校の美化作業を始め、秋季大運動会への参加、諸鈍湾で行われる遠泳大会、校内ロードレース大会の応援など、地域住民に協力をいただきながら実施している。地域行事である豊年祭や大屯祭には、児童生徒が、相撲やエイサーを披露している。また、諸鈍シバヤ保存会の方々から、児童生徒に向けて諸鈍シバヤの演目を指導していただき、地域の文化の担い手として、文化の継承活動に参加している。</p>
<p>③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応</p>	<p>秋季大運動会では、集落ごとにチームを編成して参加したり、入学・卒業の際には、集落の公民館で祝いの宴を開いたりするなど、学校と地域との結びつきが強く残っている。環境美化活動においても、児童生徒の活動は、学校便りや学校HP等で、地域の方々に紹介している。また、地域の方々も、夏休みに行われるPTA美化作業には、集落単位で参加し、暑い中にもかかわらず、それぞれの担当場所を、きれいに整備して下さっている。その際、集落の方々が諸鈍校に在籍していた当時のこととお話されたり、現在の学校の様子をお伝えしたりして、地域の方々とのコミュニケーションをとるよい機会になっている。</p>

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	小学校では、総合的な学習の時間に、身近な環境問題を考える取組として、諸鈍長浜の漂流物を分析（どこから、どのようなものが、どれくらい漂着しているか調査）し、学習発表会で発表した。また、中学校では、SDGs に関する学習として、海の保全のためにどのような取組ができるか考えた後、諸鈍長浜の海岸清掃を行った。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	諸鈍長浜の海岸清掃を通して身近な環境問題について考えることになり、普段の生活においても分別を意識したり、プラスチックごみを排出しない生活について考えたりするようになった。弁論大会のテーマとして、環境について自分の考えを発表する生徒もいた。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	令和5年度は、郷土学習として、地元ガイドの案内で散策しながら、でいご並木の自然や歴史について説明をしていただいた。令和6年度は、サンゴの保全活動や海の生態系等について、地元のスキューバダイビングインストラクターに講話をしていただいた。
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	オーシャンコンサーバンシー承認 (2009年 JEAN クリーンナップ全国事務局)
(6) 校内外活動のための時間の作り方	様々な教育活動があるため、新たに時間を設定することが難しいので、教育課程編成の際に、学習内容との関連を意識しながら、時間を設定している。小中併設校のため、学校全体で活動するときは、必ず時間の調整を必要とし、年度当初から計画的に進めなければならない。また、新たに始めることは難しい。学校行事・総合的な学習の時間の見直しの中で、時間設定をしている。
3 その他特記事項	